

夢追い長島花フェスタが閉幕

花の町に12万人

3月29日に開幕した第4回夢追い長島花フェスタが、5月6日閉幕しました。

閉会式は、町文化ホールで行われ、飯田満穂実行委員長が「来場者からは、たくさんのお褒めの言葉を頂いた。花フェスタを含むたくさんイベントが長島のまちづくりの起爆剤となっている。ぐるっと一周フラワーロード沿線の花壇管理者にも感謝します」とあいさつしました。

川添健町長は、開催期間の39日間で、約12万1千人が本町を訪れたことに触れ「農業・漁業と観光の結びつきが、交流人口を増やし、町の活性化につながっている。平成27年度はかごしま国民文化祭が開催される。これまで以上の観光客が訪れることを期待したい」と述べました。

式では、長島町ふるさと景観条例に伴う景観賞の表彰があったほか（P16に関連記事）、受賞者を代表して株式会社小竹組鹿兒島支店の牧圭三支店長が「自然と共存する美しい感性あふれる長島町を目指し、花によるまちづくりをより一層推進します」と宣言しました。



↑花のまちづくり宣言をする牧さん



↑期間中、春の花ばなで来場者の目を楽しませた花フェスタ会場

中橋教育長退任

教育の新リーダーに村田氏

長島町教育委員会

任期満了に伴い長島町教育委員会教育長、中橋藤七氏が5月10日、退任されました。

9日に行われた退任式では、川添健町長から「長い間、本町の教育指導のため尽力いただき、ありがとうございます」と労いの言葉がかけられ、「職員から花束が贈呈されました。獅子島出身で学校教諭だった中橋氏は「長島のためになることを目標に頑張ってきた。これからも長島を応援していきたい」と退任のあいさつをしました。

21日、町教育委員会は臨時会を開催し、委員5人の互選により、教育長に村田研史氏が選任されました。

鷹巣小学校に赴任されていた経験のある村田教育長は「再び長島町で仕事をさせていただけことに感謝し、『協働・共育で自立を促す教育』実現のため努力したい」と決意を述べました。

任期は、平成30年5月20日までの4年間です。



→職員から花束を受け取る中橋氏



村田 研史（60）

▽鷹巣小学校に昭和56年から6年間教諭として赴任、以後協本小学校長、霧島市教育委員会学校教育課長などを歴任